

中国鉄安第96号の4
令和4年10月14日

中国トラック協会会長 殿

中国運輸局鉄道部長
(公 印 省 略)

踏切事故防止キャンペーンの実施について

平素は、鉄道行政に格段のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。踏切事故の削減につきましては、第11次交通安全基本計画（令和3年度～7年度）において「令和7年までに踏切事故件数を令和2年と比較して約1割削減する」を数値目標としています。

全国の踏切事故の発生件数は長期的には減少傾向にあるものの、令和3年度は前年比53件増の218件でした。

なお、中国運輸局管内における踏切事故の発生件数では、長期的には減少傾向にあり、令和3年度は前年比5件減の7件（速報値）でした。

また、平成29年度から令和3年度の5年間に、中国運輸局管内における踏切事故は56件発生しており、別紙のとおりその内訳は、①原因別では、直前横断によるものが30件（約54%）を占め、②衝撃物別では、歩行者と衝撃したものが約39%、自動車と衝撃したものが約36%を占めています。

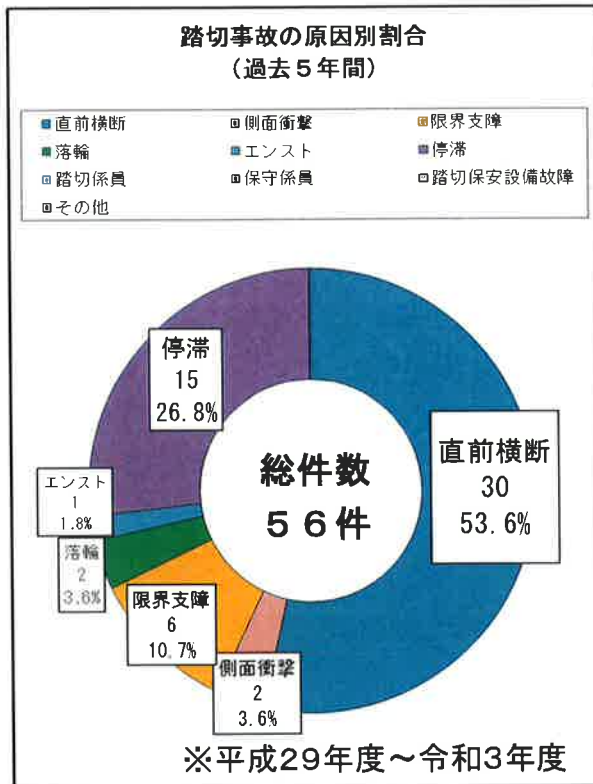
さらに、③年齢別では、約48%が65歳以上の高齢者が関係したものとなっています。

よって、事故を未然に防止するためには踏切道利用者に対する安全意識の高揚が不可欠であり、この旨を継続的に広く踏切道利用者に啓発することが重要です。

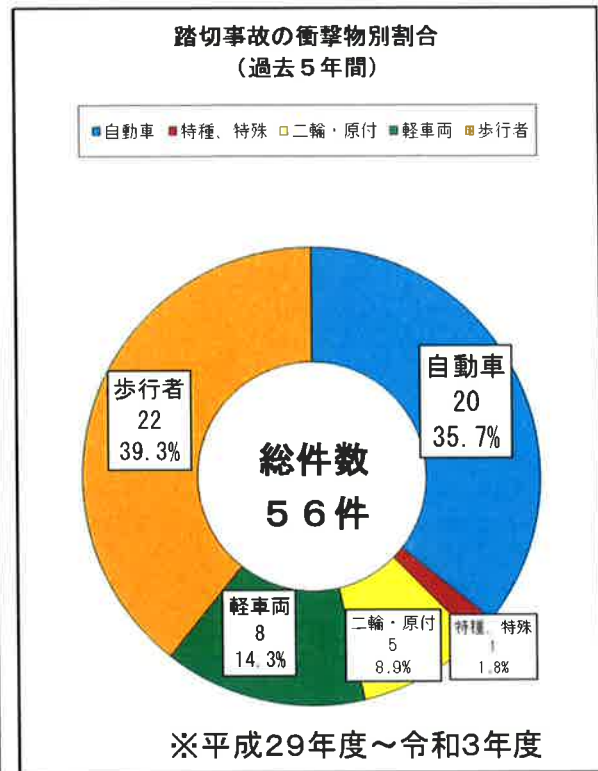
つきましては、踏切事故防止を図るため、11月1日から10日までの間、別紙実施要領のとおり「踏切事故防止キャンペーン」を展開することとしておりますので、貴団体におかれましても、本キャンペーンの主旨をご理解いただき、ポスターの掲示を行っていただくとともに、貴会会員に対しまして、踏切事故の防止に万全を期すよう周知方よろしくお願いいたします。



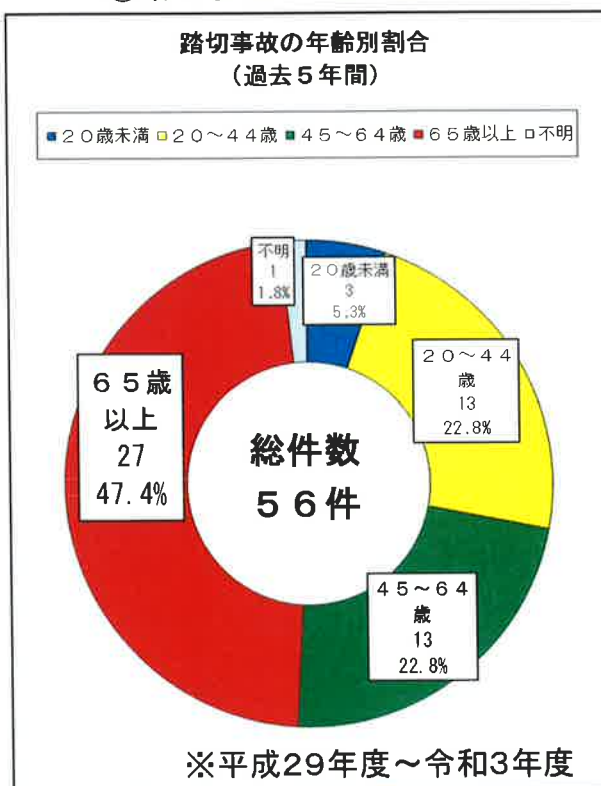
①踏切事故の原因別割合



②踏切事故の衝撃物別割合



③踏切事故の年齢別割合



令和4年度踏切事故防止キャンペーン実施要領

1. 目的

踏切道を通行する歩行者及び自動車等の運転者に対し、踏切道の通行に際しての安全意識の高揚を図り、この継続的な実施を促すことによって、安全で円滑な踏切道の通行を確保することを目的とする。

2. 期間

令和4年11月1日(火)～11月10日(木)

3. 実施機関

中国運輸局

中国四国管区警察局

中国地方整備局

西日本旅客鉄道株式会社

日本貨物鉄道株式会社

中国地方鉄道協会(会員10事業者)

一畑電車株式会社、広島電鉄株式会社、水島臨海鉄道株式会社、
若桜鉄道株式会社、智頭急行株式会社、錦川鉄道株式会社、
井原鉄道株式会社、岡山電気軌道株式会社、広島高速交通株式会社
スカイレールサービス株式会社

4. 実施要領

各実施機関はお互いに連携をとり、関係する次の事項に基づいて、本キャンペーンの円滑な実施に努める。

(1) 街頭啓発

・踏切道を通行する歩行者及び自動車等の運転者に対し、幅広い啓発活動を展開する。

(2) 広報啓発

・駅・列車内において、スポット放送を実施する。

・ラジオ放送等を媒体として広報する。

・ポスター及びPR品を作成し、効果的に掲出・配布する。

・電光掲示板、立て看板、横断幕等について、適宜、掲出する。

・自治体等の発行する広報誌やホームページ等を利用して、本キャンペーンの記事を掲載し、PRする。

(3) 踏切道の安全確保

・踏切保安設備等の点検整備を実施する。

・踏切事故を想定した救急・救護復旧訓練を実施する。

(4)高齢者及び幼児等への啓発活動

- ・老人クラブ連合会、鉄道沿線の幼稚園、小学校、自動車教習所等において、本キャンペーンの周知徹底を図る。
- ・映像(DVD等)を活用して、踏切事故防止を目的としたマナーアップ、事故防止の啓発を行う。

(5)その他

- ・関係機関に対して、これらのキャンペーンの趣旨説明を行い、理解と協力を求める。
- ・なお、本キャンペーンについては、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を確実に実施しつつ、可能な範囲で取り組むものとする。

5. 報 告

鉄・軌道事業者は、本キャンペーンの実施結果をとりまとめ中国運輸局鉄道部安全指導課に報告するものとする。

なくそう！踏切事故



列車は急には止まれない

ふみきりじこ ふせ

ちゅういてん

＝踏切事故を防ぐための4つの注意点＝

ふみきり てまえ かなら いちじていし

1. 踏切の手前では必ず一時停止しましょう！

列車が接近していないことを確認してください。

けいほうぎ な はし なか はい

2. 警報機が鳴り始めたら中に入ってはいけません！

無理な横断は危険です！

踏切に取り残された場合は、すぐに非常ボタンを押すか、遮断棒を押し上げて急いで踏切外へ退出してください。

まえ くるま い

3. 前の車について行かないようにしましょう！

踏切を越えた先に自分の車を止められるスペースがない時は、絶対に踏切に進入してはいけません。

遮断棒も警報機も設置されていない踏切があります



踏切手前では必ず一時停止して左右をよく確認して通行しましょう

ある や

4. 歩きスマホは止めましょう！

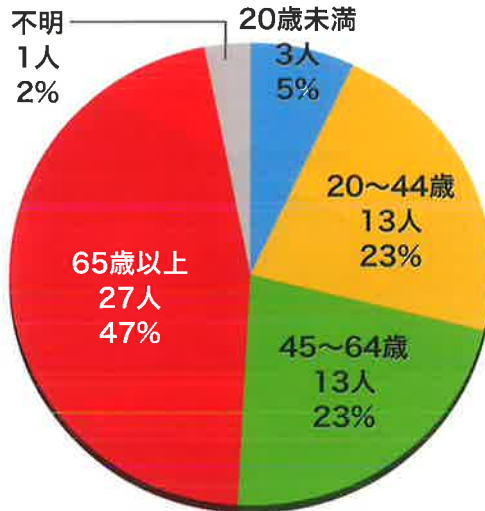
段差での転倒、他者との接触など事故の原因となり大変危険です。

高齢者の踏切事故が多く発生しています!



中国地方における踏切事故発生状況

年齢別踏切事故の状況 (平成29年度～令和3年度)



踏切内で立ち止まっていた
自転車と衝突した。(71歳)

踏切内で立ち往生していた
軽自動車と衝突した。(70歳)

踏切内で手押し車を押した
人と接触した。(83歳)

踏切内でハンドル形電動
車椅子と接触した。(86歳)

踏切内にはみ出して停車してい
たトラックと接触した。(65歳)

遮断棒の無い踏切道へ進入
した原動機付自転車と接触
した。(82歳)



踏切のレール部分には溝（段差）があります。
シルバーカートや車いすで通行の際、車輪が溝に挟まるケースがあり注意が必要です。

踏切でのトラブル対処法

踏切内に閉じ込められたら

そのまま中を進めて脱出
してください。
遮断棒は斜めに上がるか
折れ曲がって脱出できます。

踏切内で動けなくなったら

『非常ボタン』をためらわずに
押してください。
非常ボタン操作により、列車に
対する停止信号が動作します。

非常ボタンを押したら

非常ボタンを押した場合でも、
すでに列車が接近していれば
止まりきれないおそれがあります。
必ず踏切外に避難してください。



きんきゅうじ ひじょう お
緊急時は非常ボタンを押してね!

緊急連絡先が表示されています

